

会員各位

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協会の事業運営に格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして以下のとおりご案内申し上げますので、ご予約の方よろしくお願いたします。恐れ入りますが、ご出席の有無を9月12日(火)までに本メール宛に必ずご返信くださいますようお願い申し上げます。

また、8月例会【8/22(火)12:00~13:30】の出欠の有無をまだ頂けていない方は、8月17日(木)までに本メールまでご連絡下さいます様お願いいたします。 敬 具

=====

1. と き：平成29年9月19日(火) 9月例会 17:00 ~ 18:00

懇親会 18:00 ~ 19:30

2. ところ：カジュアルダイニング「アイリス」(個室「コスモス」・名鉄グランドホテル 18階)

愛知県名古屋市中村区名駅一丁目2番4号名鉄バスターミナルビル 11F~18F

(Tel 052-582-2233)

3. 講演テーマ：「今、『なぜゴジラ』なのでしょうか？」

1954年に封切された『映画初代ゴジラ』以来63年の月日が流れました。その間、東宝版が28作、ハリウッド版が2作、制作されました。この合計30作のゴジラを全く無視し、無かったことを大前提として、一から作り上げたのが2016年に封切された『映画シン・ゴジラ』だと思いました。

『映画シン・ゴジラ』は『映画初代ゴジラ』を原点としております。そして、『映画初代ゴジラ』は「戦争」の象徴として「太平洋戦争」と「東京大空襲」と「原爆投下」をモチーフにしていると考えます。『映画シン・ゴジラ』は「原子力発電所」を象徴しており、『3.11』における「地震」と「津波」と「原発事故」をモチーフにしていると考えています。

今回はそれを少しずつ紐解いていきながら、日本政府の政治的対応について、巨大な災害に直面した政府の初期対応の不味さとその後の政治的対応の見事さ、自衛隊の国家危機への対応、日米安保条約の発動など、本当にこのようなことが生じた場合のシミュレーションを検証します。さらにシン・ゴジラによって破壊された首都機能が日本全体の経済、つまり株価や為替や金利にどのように影響していくかを頭の体操のごとくシミュレートしていきます。

最後に私自身の根本的な『なぜゴジラ』について簡単にお話ししたいと考えております。

4. ゲストスピーカー

伊藤 芳康 氏 株式会社グリーン・フレンズ 代表取締役社長

1976年慶應義塾大学卒業、同年三菱信託銀行入社。

1981年米国デンバー大学大学院修了 MIM取得。ロンドン支店、中野支店を経て2003年執行役員札幌支店長。2006年三菱UFJ信託銀行執行役員京都支店長。

2008年(株)間組専務取締役を経て、2013年三菱UFJトラスト保障(株)代表取締役。2016年より現在に至る。

5. 参加費：6,000円(現地にてお支払い願います。)

=====

一般社団法人中部産業連盟 特別プロジェクト内
SAM名古屋支部事務局 樋口・吉田
〒461-8580 名古屋市東区白壁三丁目12-13
TEL 052-931-3191(直) FAX 052-931-5198
SAM名古屋支部 sam-nagoya@chusanren.or.jp

=====